



## 令和4年度文京区障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会委員名簿

役職名	委員名	所属機関・団体・施設名
副会長	志村 健一	東洋大学社会学部社会福祉学科教授
委員	瀬川 聖美	社会福祉法人本郷の森 理事長
〃	佐瀬 祥子	飯田橋公共職業安定所 統括職業指導官
〃	稲村 優	東京障害者職業センター 障害者職業カウンセラー
〃	北村洋次郎	筑波大学大塚特別支援学校進路指導主事
〃	松井 裕	都立王子特別支援学校主幹教諭
〃	池田 直矢	東大病院 精神科デイホスピタル
〃	小泉 洋平	小石川メンタルクリニック リワークデイケア
〃	渡部 光明	ジョブリッジ飯田橋 サービス管理責任者
〃	阿部 光実	銀杏企画三丁目
〃	平井 芙美	アビーム 管理者
〃	小林 美千代	工房わかぎり施設長
〃	中瀬 茂由	大塚福祉作業所 主任
〃	有村 秀一	トヨタグループス(株)代表取締役社長
〃	天野 亨	当事者委員
〃	鶴田 秀昭	当事者委員
〃	吉野 隆久	障害福祉課 障害福祉係 係長
〃	加藤 たか子	保健サービスセンター保健指導担当主査(本郷支所)
〃	藤枝 洋介	障害者就労支援センター 所長
事務局	藤枝 洋介	障害者就労支援センター
〃	皆川 譲	障害者就労支援センター
〃	横井 紗也奈	障害者就労支援センター



# 週20時間未満の働き方ニーズに関するアンケート結果について

令和4年度第3回就労支援専門部会  
令和5年2月21日(火)

# 週20時間未満の働き方ニーズに関する アンケート

## アンケート概要

期間：令和5年1月20日(金)～2月3日(金)

送付先：34事業所(重複8)

方法：返信用封筒を同封の上、アンケート用紙を送付し、就労支援の状況を把握している方に任意で回答をお願いした。

送付先：

34事業所へ送付

(42事業所のうち8事業所が重複)

22事業所より回答

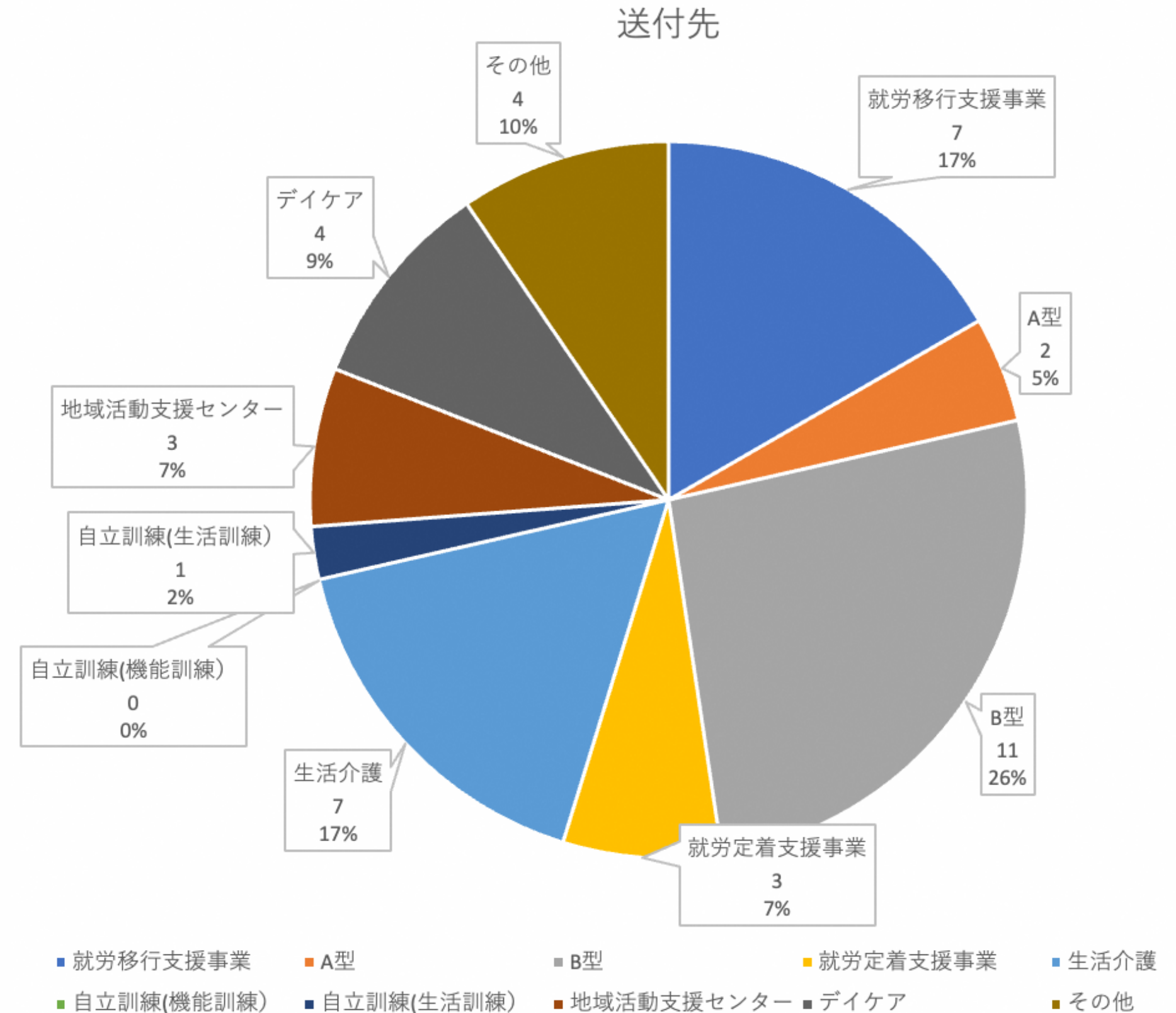
返信率65%

事業名	事業所数
就労移行支援事業所	7
就労継続支援A型	2
就労継続支援B型	11
就労定着支援事業	3
自立訓練(生活訓練)	1
生活介護	7
地域活動支援センター	3
デイケア	4
※しいのき会 国立大学法人東京大学医学部附属リハビリテーション部 精神科デイホスピタル 国立大学法人 東京医科歯科大学病院精神科デイケア からふる 医療法人社団心縁会 小石川メンタルクリニックリワークデイケア	
その他	4
※文京区ひきこもり支援センター、生活福祉課自立相談支援窓口、公益社団法人 青少年健康センター茗荷谷クラブ、文京区障害者就労支援センター	

# 送付先事業所種別

(事業所)

就労移行支援事業	7
A型	2
B型	11
就労定着支援事業	3
生活介護	7
自立訓練(機能訓練)	0
自立訓練(生活訓練)	1
地域活動支援センター	3
デイケア	4
その他	4
合計	42 (重複8)

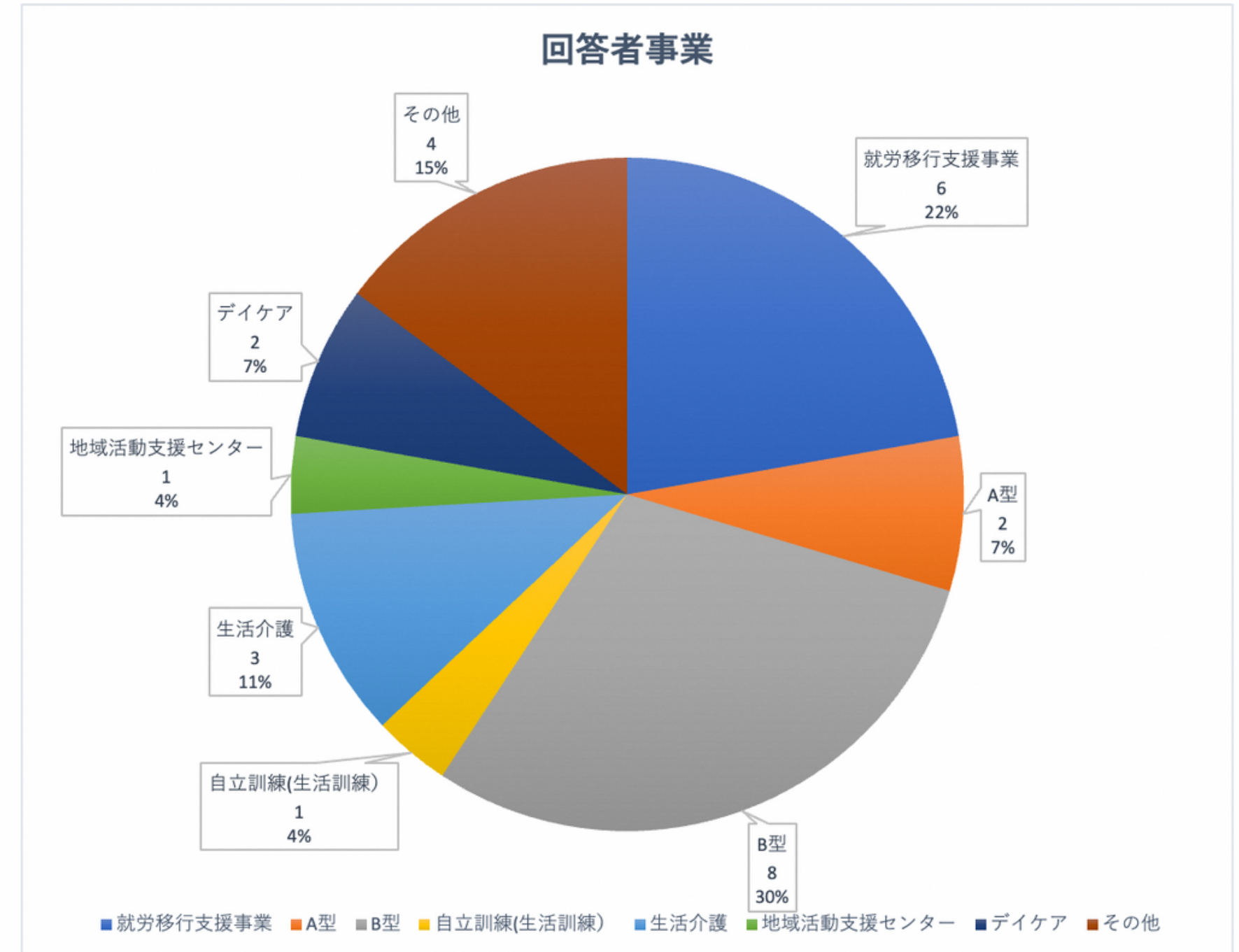


# 回答者の事業種別

(事業所)

就労移行支援事業	6
A型	2
B型	8
自立訓練(生活訓練)	1
生活介護	3
地域活動支援センター	1
デイケア	2
その他	4
合計	27

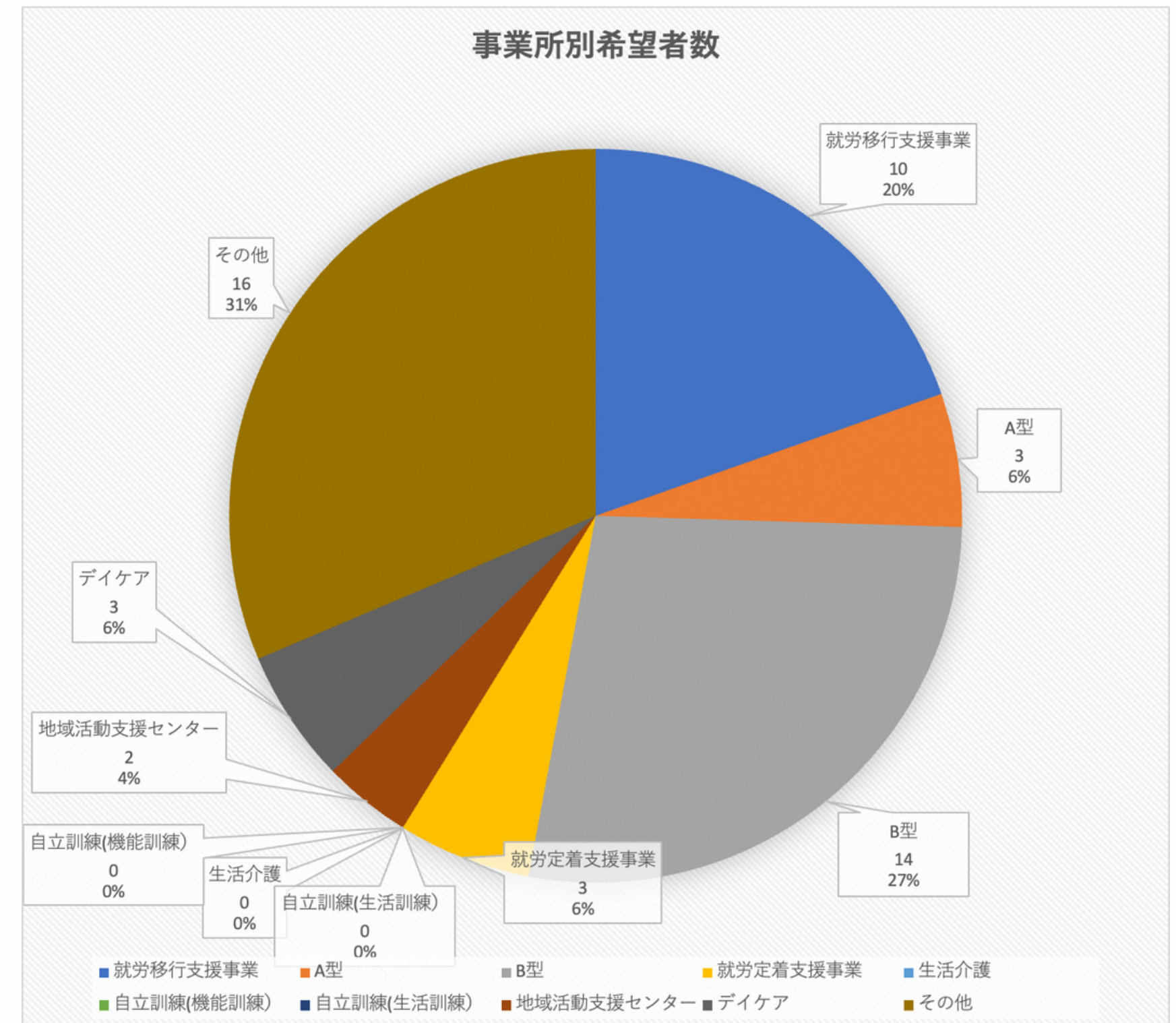
重複3事業所



# 週20時間未満での就労を希望する方

	(名)
就労移行支援事業	10
A型	3
B型	14
就労定着支援事業	3
生活介護	0
自立訓練(機能訓練)	0
自立訓練(生活訓練)	0
地域活動支援センター	2
デイケア	3
その他	16
合計	51

重複15名

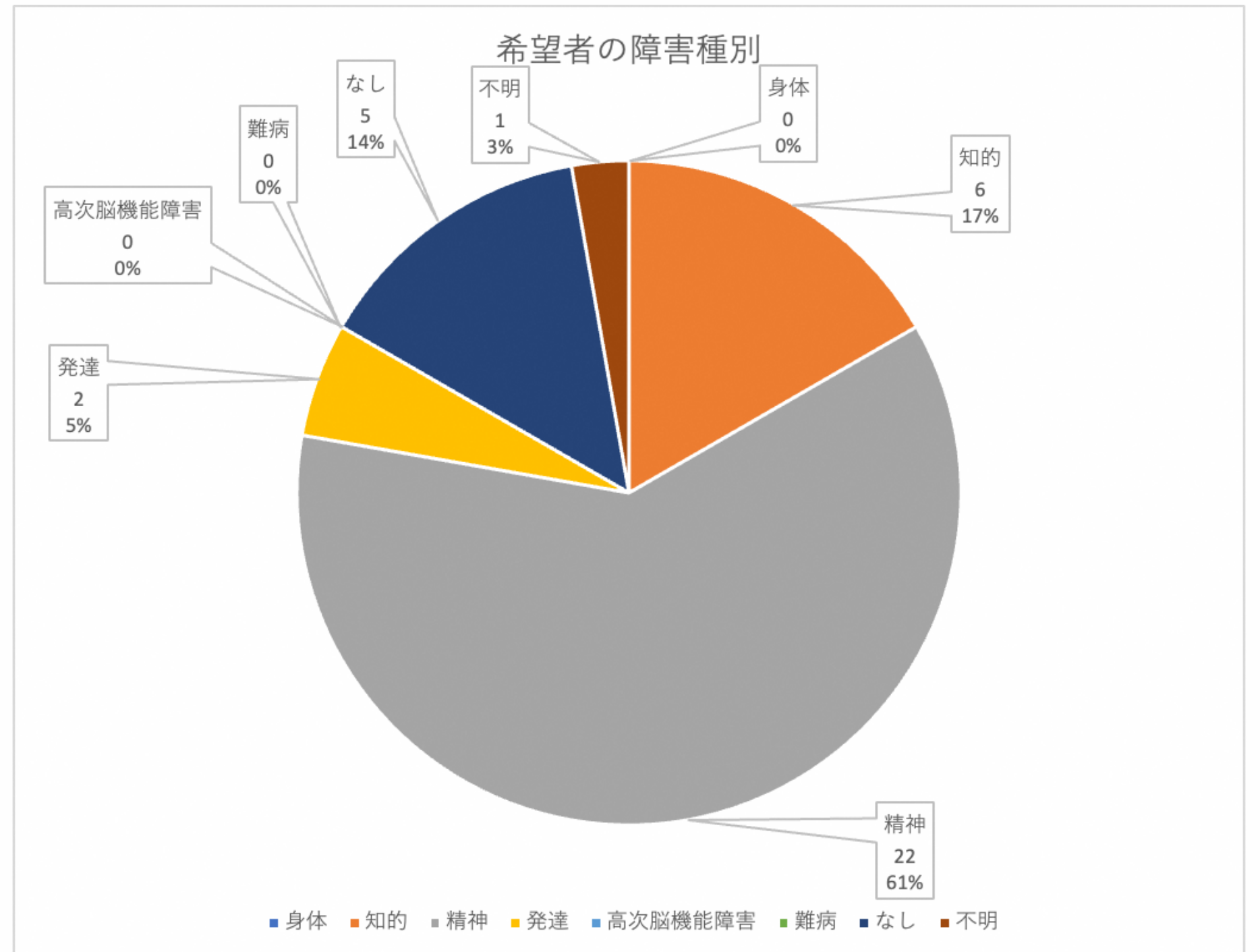




# 希望者の障害者種別

(名)

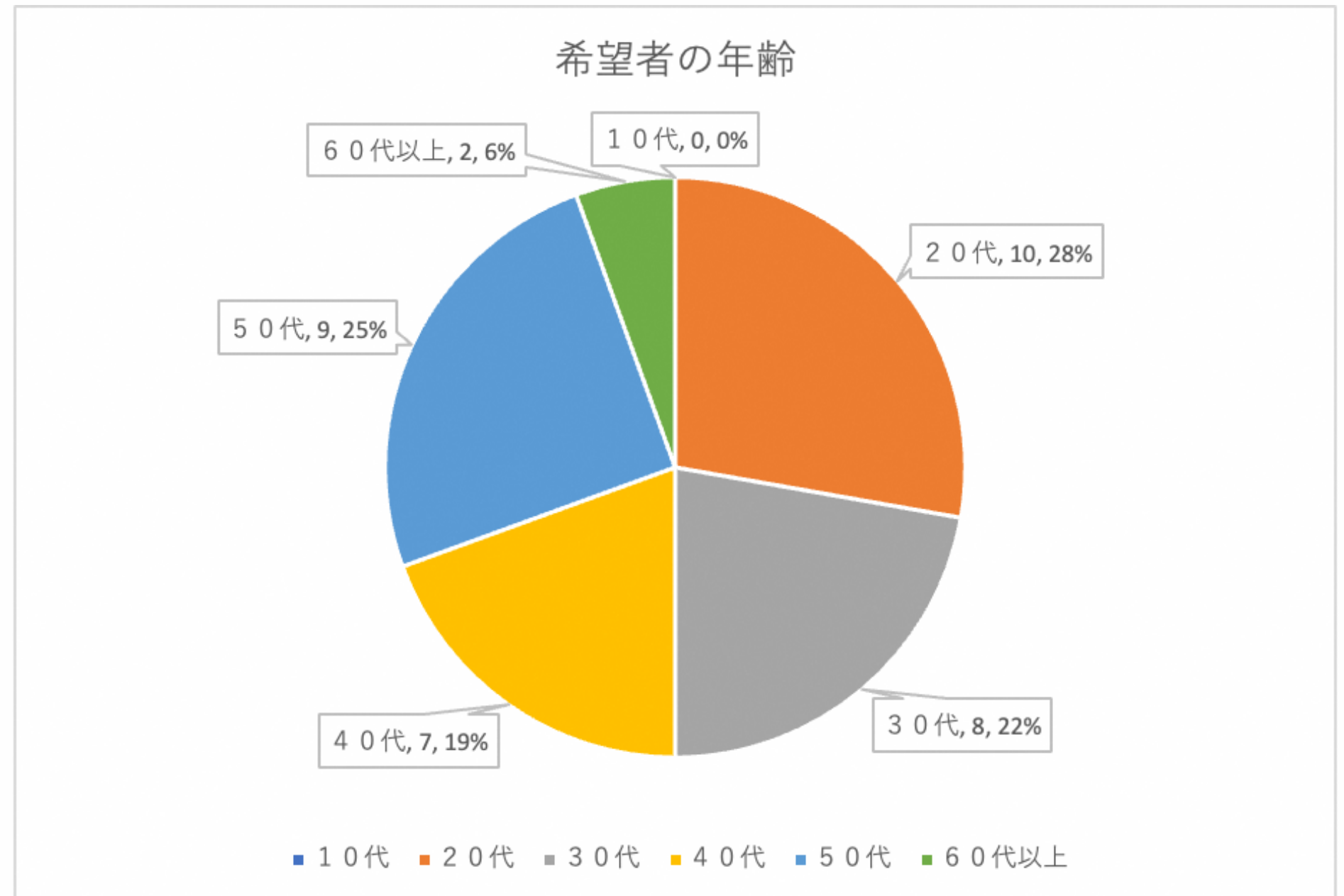
身体	0
知的	6
精神	22
発達	2
高次脳機能障害	0
難病	0
なし	5
不明	1
合計	36



# 希望者の年齢

(名)

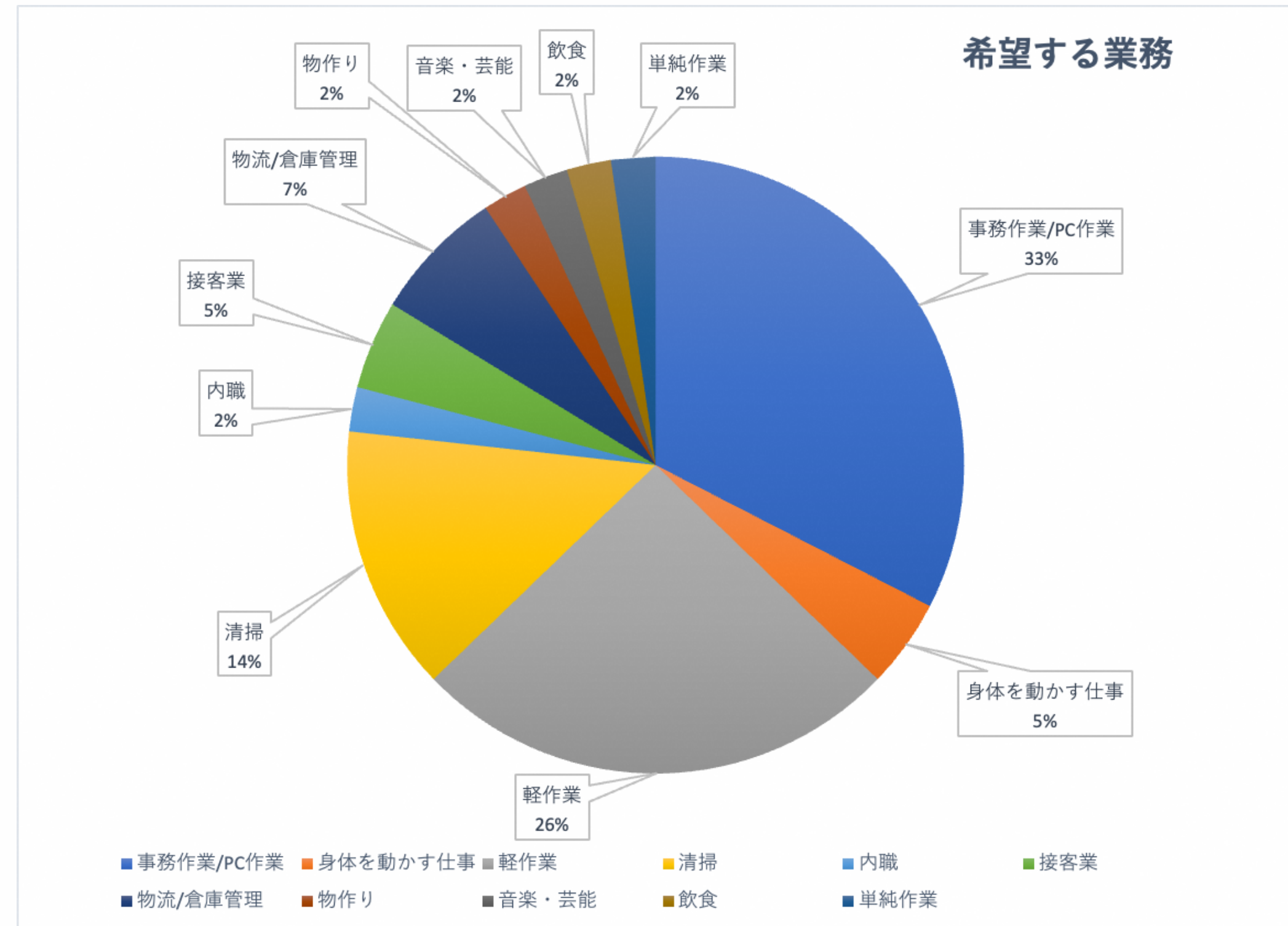
10代	0
20代	10
30代	8
40代	7
50代	9
60代以上	2
合計	36



# 希望する業務

	(名)
事務作業/PC作業	14
軽作業	11
清掃	6
物流/倉庫管理	3
身体を動かす仕事	2
接客業	2
内職	1
物作り	1
音楽・芸能	1
飲食	1
単純作業	1

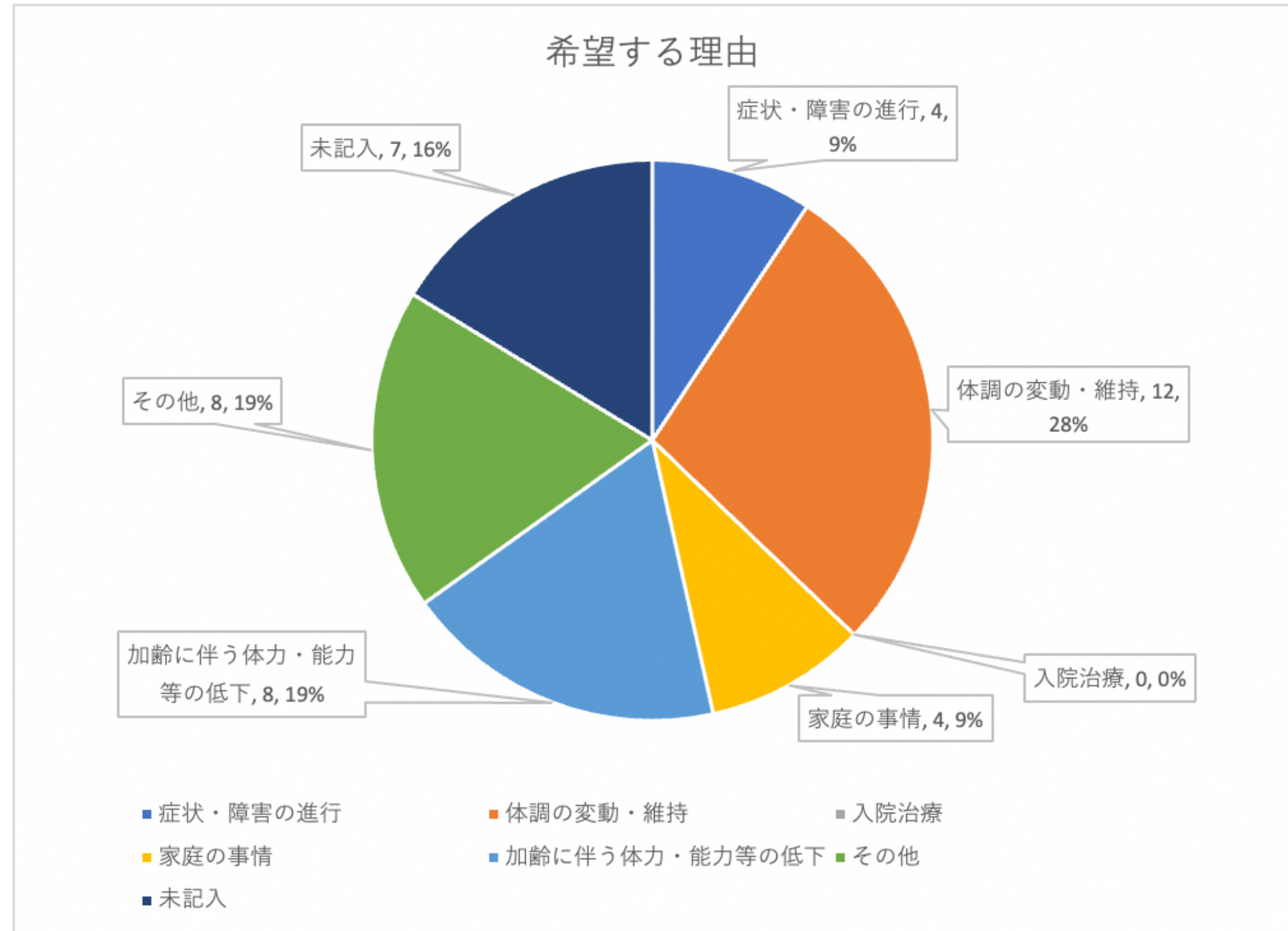
※複数回答あり



# 希望する理由

	(名)
体調の変動・維持	12
加齢に伴う体力・能力等の低下	8
その他	8
症状・障害の進行	4
家庭の事情	4
入院治療	0
未記入	7

※複数回答あり



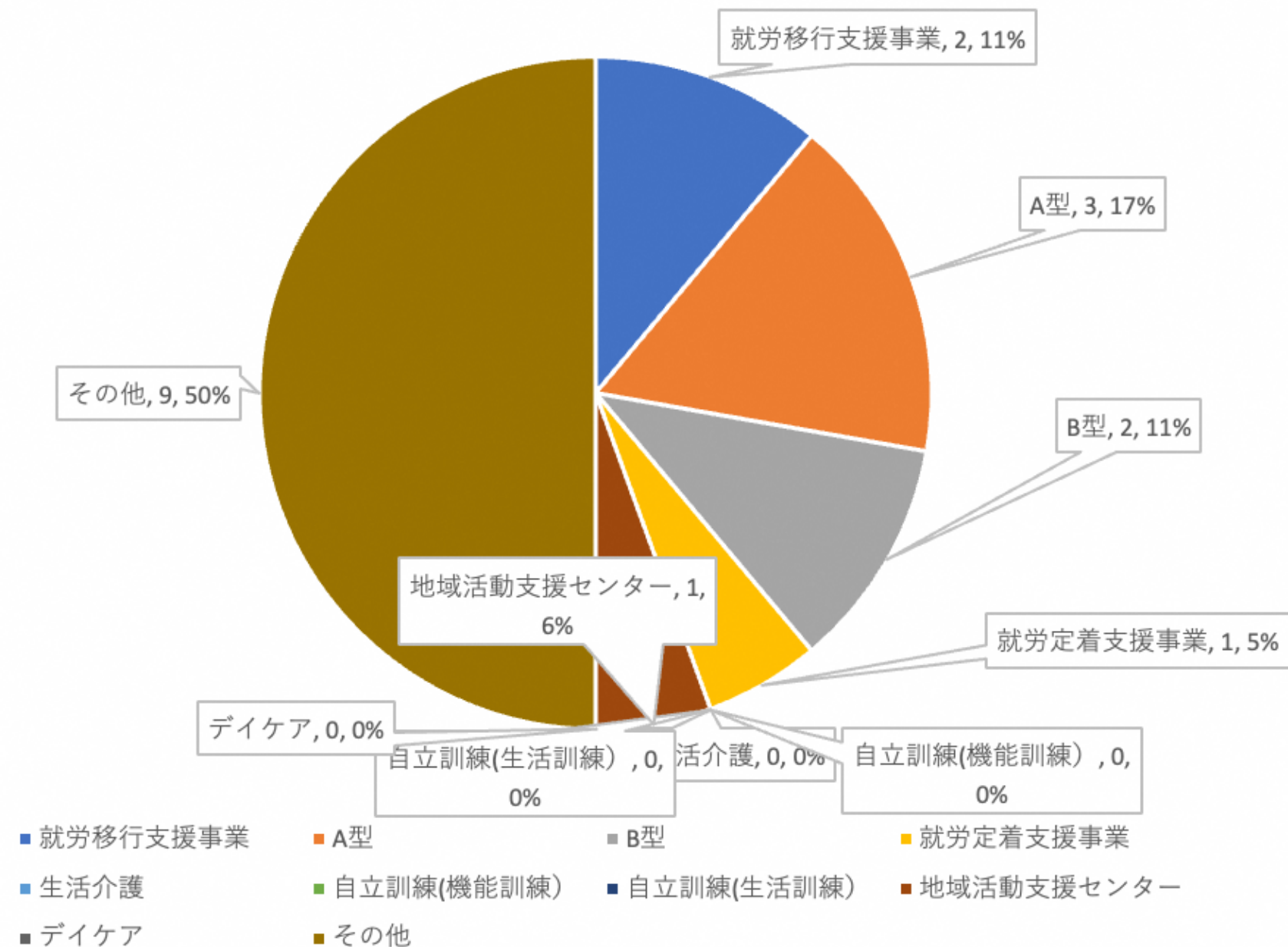
# 週20時間未満で就労した実績者数

(名)

就労移行支援事業	2
A型	3
B型	2
就労定着支援事業	1
生活介護	0
自立訓練(機能訓練)	0
自立訓練(生活訓練)	0
地域活動支援センター	1
デイケア	0
その他	9
合計	18

重複2名

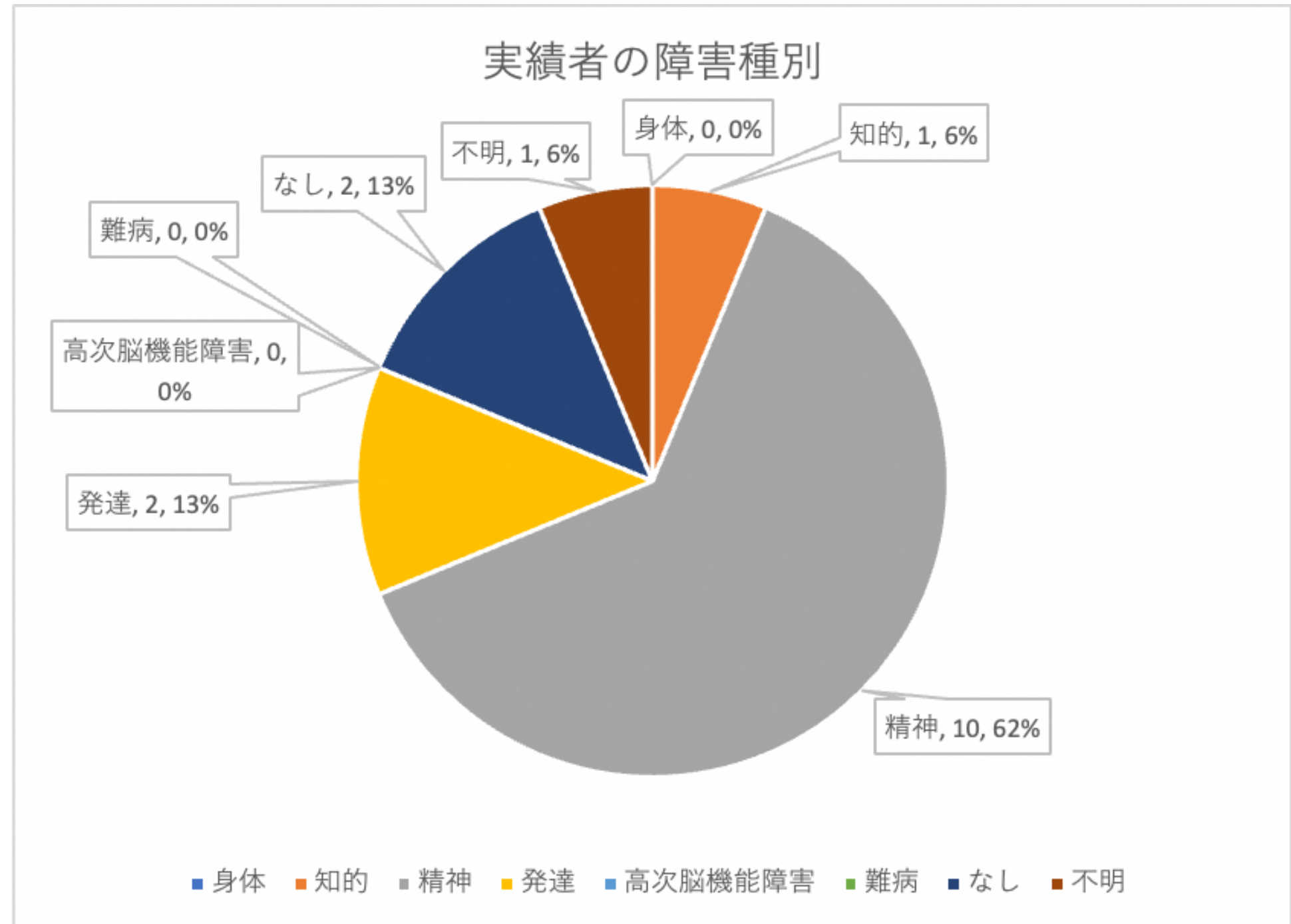
実績者の事業所別人数



# 実績者の障害種別

(名)

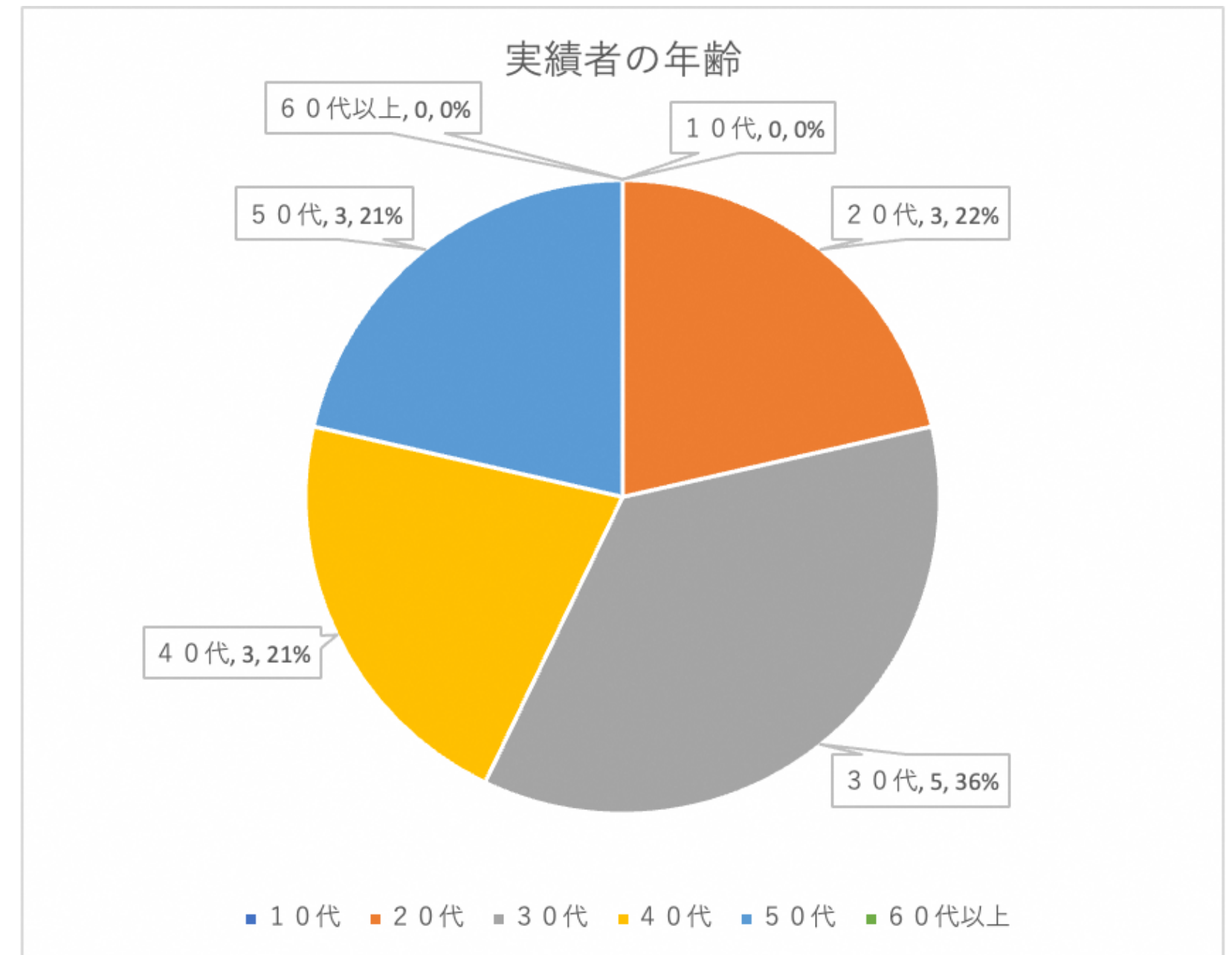
身体	0
知的	1
精神	10
発達	2
高次脳機能障害	0
難病	0
なし	2
不明	1
合計	16



# 実績者の年齢

(名)

10代	0
20代	3
30代	5
40代	3
50代	3
60代以上	0
不明	2
合計	16

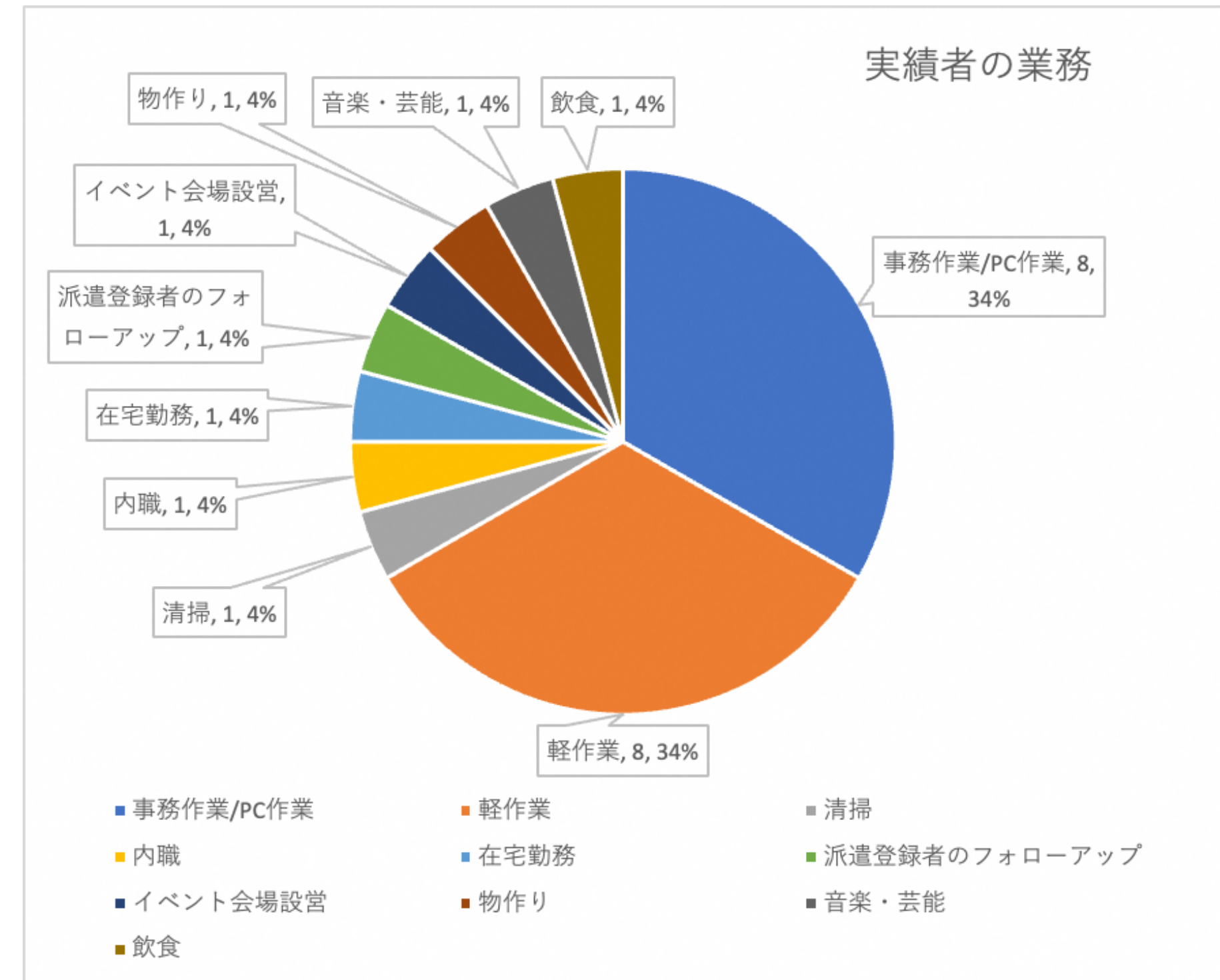


# 実績者の就労先業務

(名)

事務作業/PC作業	8
軽作業	8
清掃	1
内職	1
在宅勤務	1
派遣登録者のフォローアップ	1
イベント会場設営	1
物作り	1
音楽・芸能	1
飲食	1

※複数回答あり



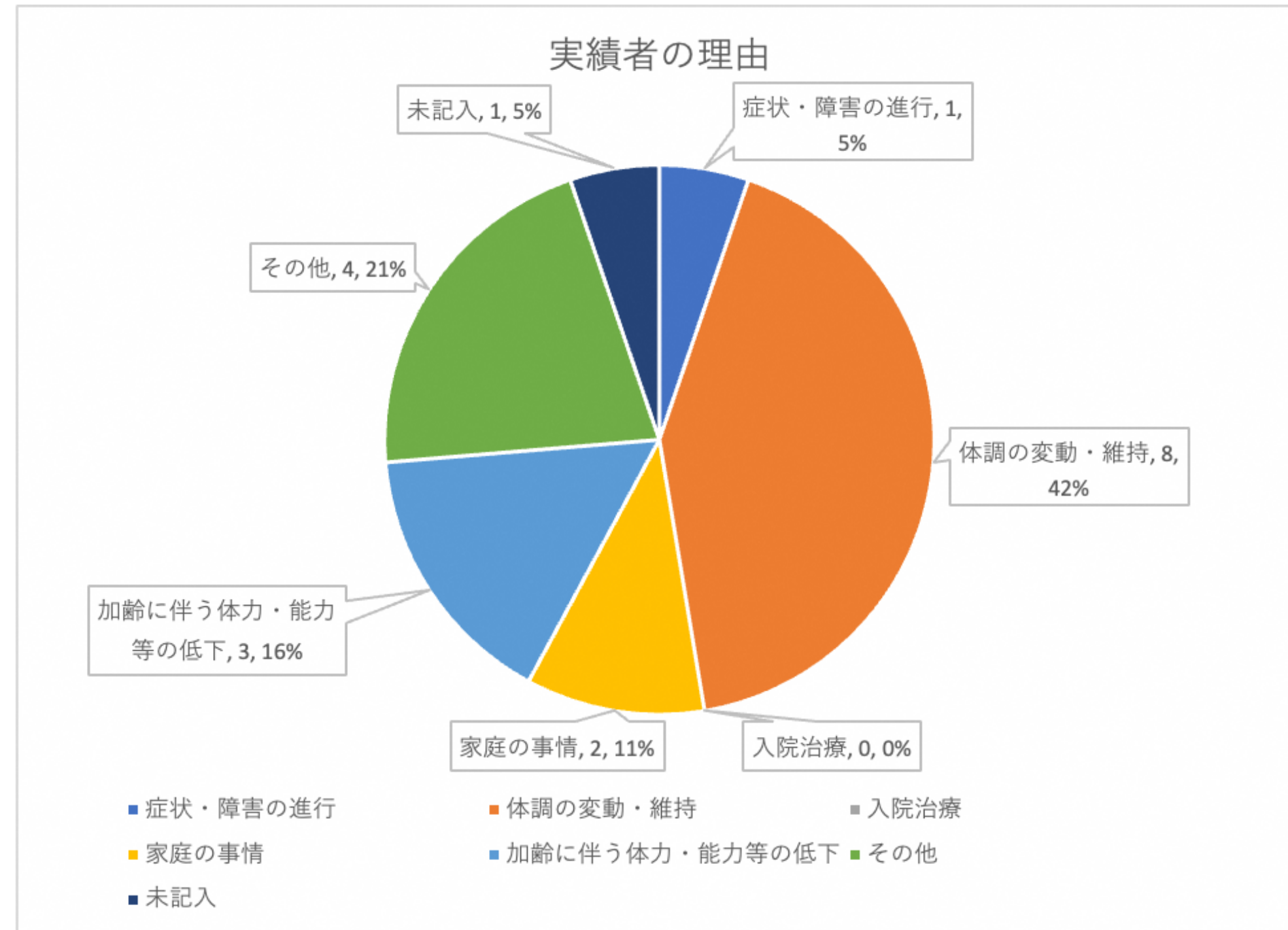


# 実績者の20時間未満で就労した理由

(名)

体調の変動・維持	8
その他	4
加齢に伴う体力・能力等の低下	3
家庭の事情	2
症状・障害の進行	1
未記入	1
入院治療	0

※複数回答あり



# アンケート問5 自由記述

(詳細は資料第2-2号を参照)

## 理解啓発

- 地域の理解、雇用主の理解、職場の理解が必要である。
- 20時間未満での就労機会を知らないため、希望がない。短時間雇用の事例が知れると良い。

## B型の併用

- 就労継続支援B型との併用が認められることが必要。生活リズム維持、短時間の就労時間以外の日中の活動場所としてあると良い。

## スモールステップの就労

- 就労へのハードルが下がり、就労を目標にしやすい。

## 短時間雇用のフォロー体制

- 短時間雇用をした際の、企業側へのフォロー体制、開拓した後の職場維持が課題。

# まとめ

- 訓練等給付サービス系を利用している方、その他行政サービス、デイケア、地域活動支援センターを利用している方で、20時間未満での就労を希望する方がいた。
- 希望者、既に20時間未満で就労された実績者は精神障害のある方が多かった。
- 年齢は20代から50代までまんべんなくおり、希望者は20代が一番多かった。
- 業務内容は、希望者、実績者ともに、PC作業や事務作業が一番多く、次に軽作業となった。
- 週20時間未満での就労を希望される理由、就労された理由は、体調の変動・維持が一番多かった。
- 週20時間未満での就労ができることを知らない、短時間就労している人が身近にいないため、希望がない可能性が考えられた。
- 短時間雇用を進める上では、就労継続支援B型との併用を希望する声が多かった。

# まとめ(課題)

- 1. 就労継続支援B型との併用**
- 2. 20時間未満での就労に関する情報の広報周知、理解啓発**
- 3. 地域の先行事例の集約**

自由記述

問 5. 週 20 時間未満の働き方について、また支援を地域で進める場合の課題になりそうな点やご意見などをお聞かせください。

- 短時間で 1000 円等というお小遣い感覚でやる行いは地域の理解と仕事の切り出しが重要。個人事業等の会社や店舗が良いと思う。
- B 型を利用しながらも OK なのか？
- まだまだ企業の理解がない。本人は働く意欲はあるが、何十年も鬱病、引きこもりで社会性が乏しいため社会のルールを教えるのに時間が掛る。性格はいいので職場体験を長期（週 2-3 を 1 ヶ月以上）行わないと企業にも理解してもらえない。また、通勤の恐怖も拭い切れないので時間が掛かる。
- A 型で現在週 20 時間未満で働いている方がいます。清掃のお仕事ですが、清掃場所や内容とご本人の障害特性（精神、周囲の音が気になるなど）に応じて勤務時間を決めました。働く場所、雇用する側と折り合いをつけることが一番重要と思いますが「短時間の勤務出会っても、その方が働くことが会社、社会の利益にもなる」という考えを持てるかが大事になると思いますし、当事者側もその短時間勤務の中でどれだけ能力を発揮することが出来るか、をしっかりと考えてもらうことが大切だと思います。
- 短時間で収益を上げるのが難しい。
- 週 20 時間未満の短時間労働であると、利用者にとって就労のハードルが下がり、就労というゴール設定がしやすい。
- 一方で、短時間の場合、日中時間の組立が困難（時間を持て余す）ので就 B との併用利用が認められると本人の生活の幅が広がる。
- 事業所の雇用率達成のため、チーム雇用やポイント制が望ましいが、その部分のコーディネートをどの機関が担うか課題がある。
- チーム雇用の場合、同業者で希望者が集まるのかコーディネート機関と各施設のアセスメントの連携を丁寧に実施する必要がある。
- 高齢の方が増えているので今後も短時間労働を希望する方が増えてくると思います。
- 現状の仕事も行えない場合もあるので、仕事の内容も見直しが必要になってくると思います。
- 精神特性への理解について時間がかかったり実績を積むのが難しいと想定されるが取組めたら楽しいと思います。
- 実際、過去にランチタイムの洗い場やちょっとした接客で雇用開拓に成功例が 3 件程あ

りました。地道な取組ですが働きたい人、雇いたい人それぞれ需要があると思う。

○銀杏企画では運転手として週 12 時間で精神の方を 1 名雇用しています。また、今後ピアの活動も注目されると思うので、短時間相談員としての地域での雇用が広がることを期待しています。

○あまり就労支援に関わった経験がなく、課題や意見が出ずに申し訳ありません。今後勉強させていただきたいと考えております。

○週 20 時間未満だと雇用率にカウントされず障害理解や配慮がどの程度得られるのか心配です。

○生活リズム維持のため勤務日以外、B 型等事業所通所がつけられると良い方もいますが、就職した方の通所サービスの利用が認められるか気になります。

○現在働いている会社では業務の切り出しが上手くいっていないため本来の契約通りの勤務が出来ていない。

○現場にて指導者や業務内容について相談出来るのが望ましいが、会社（担当指導者）の都合もあり、難しい状況。

○段階的に就労経験を積み、ステップアップに利用できる。しかし、その後の就活の支援等はどこで得られるかなど情報が少ない。

○表立って 20 時間の求人を見ないため対象者の方々から希望が出ることがない。20 時間未満の就労について先行事例の広報があると希望が出しやすい。

○そのような企業が具体的にどのように受入れしているのか知りたい。

○働きたいと希望される方はいますが、ハードルが高いと感じるようです。

そういう方にとっても、チャレンジしやすいような働き方があると良いのではないかと感じます。

○業務スキルや職務経験は十分にあるが、体調面に不安が大きく、障害枠での就労を希望される方は一定数おられますが、週 20 時間以上のハードルが高く、結果的に一般の単発の日雇い派遣等の不安定就労をしながら生活をされているケースが見受けられます。

週 20 時間以内で体調面等に配慮いただける障害枠のような就業形態があれば中長期的に見て、雇用継続や経済的安定に繋がるのではと感じます。

○仕事の切り出しの企業側の負担/企業へのフォロー体制。

○開拓した後の職場の維持/現場監督体制。

○本人たちの自尊心を高める仕事は責任や期限が発生することが多く、そのバランスが難しい。

○現事業所内で生活介護の利用者に就労希望の方がおりませんでした。

○短時間雇用も認められるようになり、働きやすい環境になりつつあると思います。

就労から長く離れていた方も第一歩を踏み出しやすくなる点で 20 時間未満の働き方は良いと思います。

○B 型利用者が 20 時間未満の働き方に進むために企業にいったがご本人が「B 型も利用し

ながらいい生活リズムが整っている」との理由で断念した。

○B 型も平行して利用できる体制も必要になるか。

区内関係機関の皆様

令和5年1月20日(金)

## 「週20時間未満の働き方ニーズに関するアンケート」

へのご協力について（お願い）

日頃から、文京区障害者就労支援センターの事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、文京区障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会において、週20時間未満の働き方における地域ニーズを把握するため、アンケートの実施を行うこととなりました。

つきましては、貴事業所における週20時間未満での就労に対する現状についてお伺いいたしたく、アンケートへのご協力をいただけますようお願い申し上げます。

(1) アンケートへのご協力をお願いしたい方

貴事業所の就労支援の状況を把握している方

(2) アンケートの流れ

同封しているアンケート用紙に回答して頂き、返信用封筒（文京区障害者就労支援センター宛て）で返送をお願いいたします。

(3) アンケート締め切り

令和5年2月3日(金)

(4) その他

- アンケートへの回答は任意です。可能な範囲でご回答、ご返送で構いません。
- 障害のある方のご希望、就労先業種をご記入頂く箇所がありますが、個人を特定する情報は記入しないでください。
- 就労支援専門部会での協議のため別途ご連絡させて頂き、詳細お伺いする場合がございます。可能な範囲でご協力をお願いいたします。
- 対象の方が5名以上いる場合は、大変お手数ですがアンケート用紙をコピーして頂き、ご回答をお願いいたします。
- ご不明な点がございましたら、就労支援専門部会事務局へお問い合わせください。



(5) アンケートにおける、週20時間未満での就労のイメージ像

Aさん  
【業務内容】  
品質管理・金属部品の検品など  
  
【勤務時間】  
週10時間勤務  
2時間×週5日

Bさん  
【業務内容】  
物流センター内食堂食器洗浄  
  
【勤務時間】  
週7時間勤務  
3.5時間×週2日

Cさん  
【業務内容】  
図書装備（書籍のフィルム貼り）  
  
【勤務時間】  
週3～20時間勤務  
3～5時間×週1～週5日

参考：『やさしい雇用へのアプローチ』川崎市編

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000093182.html>

【問合せ先】

就労支援専門部会 事務局 / 文京区障害者就労支援センター  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-13 文京区民センター1階  
担当：藤枝、皆川、横井  
電話 03-5805-1600 メール：daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

週 20 時間未満の働き方ニーズに関するアンケート

※ご回答頂く内容は令和 4 年 11 月末時点でご記入ください。

事業所名 \_\_\_\_\_

貴事業所にて実施している事業についてお答えください。

実施している事業（該当する事業にチェックをつけてください）

就労移行支援  就労継続支援 A 型  就労継続支援 B 型  就労定着支援  生活介護

自立訓練（機能訓練）  自立訓練（生活訓練）  地域活動支援センター

その他（ ）

定員数（ ）名 実利用者数（ ）名

実施している事業（該当する事業にチェックをつけてください）

就労移行支援  就労継続支援 A 型  就労継続支援 B 型  就労定着支援  生活介護

自立訓練（機能訓練）  自立訓練（生活訓練）  地域活動支援センター

その他（ ）

定員数（ ）名 実利用者数（ ）名

実施している事業（該当する事業にチェックをつけてください）

就労移行支援  就労継続支援 A 型  就労継続支援 B 型  就労定着支援  生活介護

自立訓練（機能訓練）  自立訓練（生活訓練）  地域活動支援センター

その他（ ）

定員数（ ）名 実利用者数（ ）名

問 1 貴事業所を利用している方で、週 20 時間未満での就労を希望する方はいますか？

1 いる →問 2 へ進み、該当する障害種別・行えそうな業務内容を記入してください。

2 いない →問 3 へお進みください

人数(概ねでも構いません)

\_\_\_\_\_名

裏面にお進みください。

問 2 希望する方の人数分、理由や障害種別についてご記入ください。

問 2-1 人目 週 20 時間未満での就労を希望される理由をお答えください。

(年齢 代/性別 男・女)

障害種別 (身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

理由 症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

どのような業務内容であれば行えそうですか? → ( )

問 2-2 人目 週 20 時間未満での就労を希望される理由をお答えください。

(年齢 代/性別 男・女)

障害種別 (身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

理由 症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

どのような業務内容であれば行えそうですか? → ( )

問 2-3 人目 週 20 時間未満での就労を希望される理由をお答えください。

(年齢 代/性別 男・女)

障害種別 (身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

理由 症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

どのような業務内容であれば行えそうですか? → ( )

問 2-4 人目 週 20 時間未満での就労を希望される理由をお答えください。

(年齢 代/性別 男・女)

障害種別 (身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

理由 症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

どのような業務内容であれば行えそうですか? → ( )

問 2-5 人目 週 20 時間未満での就労を希望される理由をお答えください。

(年齢 代/性別 男・女)

障害種別 (身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

理由 症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

どのような業務内容であれば行えそうですか? → ( )

問3 「雇用契約時に労働時間が週20時間未満」の一般就労移行者がいますか。【資料第2 - 3号】

- 1 いる →問4へ進み障害種別・職業種別・週20時間未満での一般就労移行理由を人数分お答えください。
- 2 いない→問5までお進みください。

人数

\_\_\_\_\_名

問4 週20時間未満で一般就労移行された方の人数分、理由や障害種別についてご記入ください。

問4-1 人目

(年齢 代/性別 男女)

障害種別

(身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

職業種別

管理 専門・技術 事務 販売 サービス 保安 農林漁業 生産工程

輸送・機械運転 建設・採掘 運搬・清掃・包装 その他 ( )

どのような業務内容ですか?→ ( )

理由

症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

問4-2 人目

(年齢 代/性別 男女)

障害種別

(身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)

職業種別

管理 専門・技術 事務 販売 サービス 保安 農林漁業 生産工程

輸送・機械運転 建設・採掘 運搬・清掃・包装 その他 ( )

どのような業務内容ですか?→ ( )

理由

症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情

加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

裏面にお進みください。

問4-3 人目

(年齢 代/性別 男女)障害種別(身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)職業種別管理 専門・技術 事務 販売 サービス 保安 農林漁業 生産工程輸送・機械運転 建設・採掘 運搬・清掃・包装 その他 ( )どのような業務内容ですか? → ( )理由症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

問4-4 人目

(年齢 代/性別 男女)障害種別(身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)職業種別管理 専門・技術 事務 販売 サービス 保安 農林漁業 生産工程輸送・機械運転 建設・採掘 運搬・清掃・包装 その他 ( )どのような業務内容ですか? → ( )理由症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

問4-5 人目

(年齢 代/性別 男女)障害種別(身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 高次脳機能障害 難病)職業種別管理 専門・技術 事務 販売 サービス 保安 農林漁業 生産工程輸送・機械運転 建設・採掘 運搬・清掃・包装 その他 ( )どのような業務内容ですか? → ( )理由症状・障害の進行 体調の変動・維持 入院治療 家庭の事情加齢に伴う体力・能力等の低下 その他 ( )

問5 週20時間未満の働き方について、また支援を地域で進める場合の課題になりそうな点やご意見などをお聞かせください。

ご協力ありがとうございました